

会 議 録 ( 1 )

会 議 の 名 称	令和5年度 第1回 入間市廃棄物減量等推進審議会
開 催 日 時	令和5年5月15日(月) 午前10時00分 開会・午前11時20分 閉会
開 催 場 所	市庁舎 C棟 5階 501会議室
議 長 氏 名	入間市廃棄物減量等推進審議会 会長 小林昌幸
出席委員(者)氏名	有賀健高 岡崎洋志 小野吉雄 栗山三千代 小林昌幸 近藤信弘 齋藤勝久 坂本蓉 竹内國雄 永井健一 浜野良一 村野裕子 森 洋子
欠席委員(者)氏名	上田圭吾 河野真夢
説明者の職氏名	エコ・クリーン政策課(事務局) 主幹 松落義夫 エコ・クリーン政策課(事務局) 副主幹 村上 俊
会 議 次 第	1 開会 2 委嘱状交付 3 会長あいさつ 4 議題 家庭ごみ収集回数の見直しについて (1) ごみ減量・資源化に関する今後の取り組みについて (2) 前回会議の意見の整理 (3) 収集回数の見直しによる収集パターンについて 5 報告事項 入間市地球温暖化対策実行計画に関する報告 6 事務連絡 令和5年度の審議会スケジュール 7 閉会
非 公 開 理 由	
傍 聴 者 数	1名
配 布 資 料	資料 ・【資料1】令和5年度第1回入間市廃棄物減量等推進審議会資料 ・みんなで作る、ゼロカーボンシティいるま(入間市地球温暖化 対策実行計画) ・令和5年度 廃棄物減量等推進審議会スケジュール
事務局職員職氏名	環境経済部長 岸道博 エコ・クリーン政策課長 竹廣由美 エコ・クリーン政策課 主幹 松落義夫、副主幹 村上俊 総合クリーンセンター所長 石井治彦 総合クリーンセンター 副参事 橋本賢司、主幹 水村昌秋
会議録作成方法	要点筆記

## 会議録（２）

### 議事の概要（経過）・決定事項

#### ○委嘱状交付

選出団体の人事に異動があり、委員に変更があったため委嘱状を交付。

入間市連合区長会 三木敏正委員から浜野良一委員へ変更。

#### ○審議事項

家庭ごみ収集回数の見直しについて

- （１） ごみ減量・資源化に関する今後の取り組みについて
- （２） 前回会議の意見の整理
- （３） 収集回数の見直しによる収集パターンについて

【資料１】を用いて、事務局より説明を行った。

#### ○報告事項

- ・入間市地球温暖化対策実行計画に関する報告

みんなでつくる、ゼロカーボンシティいるま（入間市地球温暖化対策実行計画）を用いて、事務局より説明を行った。

#### ○事務連絡

- ・令和５年度廃棄物減量等推進審議会スケジュール

令和５年度廃棄物減量等推進審議会スケジュール資料を用いて事務局より事務連絡を行った。予定であるため、日程や内容が変更となる可能性がある旨を説明。

以上

会 議 録 ( 3 )

発 言 者	発 言 内 容
司会	1 開 会 (配布資料の確認を含む。)
小林会長	2 委嘱状交付 3 会長あいさつ 4 議題
小林会長	<p>家庭ごみ収集回数の見直しについて</p> <p>(1) ごみ減量・資源化に関する今後の取り組みについて</p> <p>(2) 前回会議の意見の整理</p> <p>(3) 収集回数の見直しによる収集パターンについて</p> <p>【資料1】を用いて事務局より説明を行いました。</p>
近藤委員	<p>ただいまの事務局の説明につきまして、ご意見等ありましたらお願いいたします。</p>
近藤委員	<p>収集回数の見直しは、働き方改革という点ではよいと思っていましたが、よく考えてみると、メリットよりデメリットの方が大きいと思っています。</p> <p>可燃ごみは、2コースしかないのですが、不燃ごみ・プラスチックごみ・資源ごみは月曜日から土曜日まで6コースある。土曜日をなくすことは、その分を月曜日から金曜日に振り分けなければならないため、コースの大幅な変更が必要となる。このため、1日の作業時間が2～3時間増えてしまうのではないかと考えています。</p> <p>プラスチックごみは、収集したあと、狭山市に持って行く。現場から狭山市へ持って行き戻ってくるのに約1時間かかる。収集するのに約2時間かかり、1回の収集で3時間は必要となる。コースの見直しにもよりますが、かなり無理しなければ収集できないと思います。そうなると夕方4時になってもごみが回収されていないということが考えられます。</p> <p>一番の問題点は、収集従事者に高齢者が多いことです。70代の方もいるので、時間が伸びてしまったときに健康面が心配されます。天気の良い日ばかりでなく、大雪の日や、夏場は炎天下の過酷な現場で行うので、そこで6時間から7時間作業するのは、不安でしかない。今まで30年以上この形で実施しているので、車両も人材もその想定で揃えている。収集回数の見直しにより、1日の作業時間が伸びた場合、車や人を更に増やさなければならないので、現状では難しい。すでに人手不足で募集しても人が集まらないという状況で、予定では令和7年10月から実施となっていますが、実際には委</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>託業者として難しいと思います。一度、現在委託している収集業者を集めて、意見交換等を行い、再度見直しの議論が必要だと思ひます。</p>
小林会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>事務局へ、答申を伸ばすことはできますか。それとも現状のまま答申し、その後検討した方がいいのか、現場の切実な意見が出ましたので、もう少し検討した方がよろしいのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>皆さんでご検討いただいた結果、なかなか次回までに答申が難しいということであれば、引き続き検討していただくことになると思ひます。</p>
小林会長	<p>引き続き検討できるとのことですが、次回の審議会で答申する案を検討する予定でしたが、ほかの皆さんもご意見もありましたらお受けしたいと思ひますが、いかがでしょうか。</p>
村野委員	<p>近藤委員の意見を聞いて、その通りだと思ひたのですが、現場の方々を集めて意見を聞く場を設けることはできますか。私は働き方改革の面で、単純に土曜日が休みになったら、皆さんの負担が減るのかと思ひていましたがそうではないというのが分かったので、実際に勤務時間が現在は何時間で、可燃ごみの収集を週2日に変更したら何時間かかるのかなどもう少し詳しく聞かせてください。</p> <p>また、ごみ減量、資源化に関する今後の取り組みについては、環境のために全て良い取り組みというのわかりますが、ごみが減るための取り組みとなっているのか、総合的に見た場合、今までよりもごみは減っているのか、経費や環境面など、実際以前と比べてどのように変わったのかを教えてください。</p>
小林会長	<p>業者の声を聴く場合に審議委員の皆さまのいる中で意見を聞くのか、業者だけを集めて意見を聞くのか。2種類あるかと思ひのですが、いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>この場ですぐには明確には申し上げられませんが、収集従事者からの意見</p>

発 言 者	発 言 内 容
	を聞く方法を考えていきたいと思います。
小林会長	もう 1 点のごみ減量・資源化について、これの取り組みで効果があるのかという質問ですが、そちらはいかがでしょうか。
事務局	<p>プラスチック・ビニール類の一括回収に関しまして、まだ始まったところで数量等も実際のところどのような推移かが出ておりません。樹木の剪定枝の資源化についても、今こういった形で回収し、どこにストックしてそれをどのように搬出するかということも、これから詰めます。</p> <p>経費としては、ボトル to ボトルの場合、サントリーにペットボトルを売却する金額のほうが入札で決めていた時より若干低いという状況ですが、市の方針としてボトル to ボトルのリサイクルを進めるということです。</p>
小林会長	ありがとうございます。他に質問はありますか。
栗山委員	今のペットボトルについての確認ですが、最近ではペットボトルを回収するスーパーが多く、市民としては買ったお店に返すことは非常に困難なのですが、市としてはスーパーの回収ボックスがあるところに返した方がいいのか、それとも通常集積所にペットボトルの日として出した方がいいのかどちらでしょうか。
事務局	スーパーの店頭回収に出しても、集積所へ出しても最終的にリサイクルされるというところでは変わりませんので、利用者のご都合にお任せします。
小林会長	他にご意見はありますか。
斎藤委員	収集回数を見直しの議論は、審議会で話を聞くとなるほどと思いますが、中身を掘り下げるといろいろ問題が出てくる。ほかにも地域では、分別がしっかりできない方が多いと感ずることがあります。そのうえ可燃ごみの収集回数が減ると 1 回に出すごみの量が多くなってきます。それをどうするかという問題もあります。そのような問題は審議会以外で専門的な話をして、ある程度方向性を決めてから審議会で検討する方がスムーズに進むのではない

発 言 者	発 言 内 容
	<p>か。対策と着地点のようなものを考え、会議を進めていくことが望ましいと思います。</p> <p>それから、樹木のチップ化にする取り組みは、チップが欲しいという方もいると思うので、それを希望する方に分けていただくことは可能かご検討してください。</p>
永井副会長	<p>樹木をチップ化する取り組みは、ごみ減量や環境面で総合的に判断する必要がある、という意見がありましたが、一方でチップが欲しい方に分けてはどうかという意見もあります。小野委員からは収集事業者の立場でそれが可能なのか教えていただければと思います。</p>
小野委員	<p>弊社は、武蔵村山市と入間市で樹木をチップ化しています。一般の方、農家の方から依頼があればチップを供給することは可能です。また、剪定した樹木は、総合クリーンセンターで焼却処分されていると思いますが、焼却処理費と剪定した樹木をチップ化する処理費を比較した場合、チップ化した方が安く、費用対効果がはっきり出ると思います。焼却してしまうと焼却灰の処理にも膨大な費用がかかります。チップ化したものは、堆肥原料として供給することも可能ですし、バイオマス燃料として発電に回すことも可能です。</p>
小林会長	<p>樹木のチップを一般の方へ分けることができる業者が他にもあるかなどの詳細情報が分かれば、欲しい方に対して市から発信していただければありがたいと思います。</p>
有賀委員	<p>確かに先ほどの収集業者の話を見ると、週5日にすることはかなり労働面で負担ということですが、東京都では週4日しか収集していない。むしろ週5日でも多いというイメージ、もう少しそのあたりを相談していく必要があると思います。例えば不燃ごみとプラスチックを同じ日に収集する。あるいはビン・ペットボトルの時にも他の資源ごみを収集するなど、週4日にすればもう少し違う労働形態が考えられます。最近ではワークシェアリングという方法もあるので、労働時間が増えるなら半分の時間で2グループに分けて従事するなど、さまざまな方法があると思うので、そこまで検討されている</p>

発 言 者	発 言 内 容
小林会長	<p>のか。</p> <p>有賀委員の発言は、場合によってはごみを混載してでも収集すれば、収集回数を減らすことが可能ではないかなという意見だと思いますが、ほかにご意見ありますか。</p>
岡崎委員	<p>このような大きな改善・変更をするときは現状分析が一番大事だと思います。現状分析がしっかりできていないと、対応策が失敗することになりかねないので、現状がどうなのか、数値化できればいいと思います。</p>
小林会長	<p>今回は、答申案を検討するか、業者の意見を聞いて皆様に提示し、それを検討するのか、どちらにするかをこの場で決めたいと思います。皆さんのご意見をお聞きしたいと思います。</p>
浜野委員	<p>働き方改革は、週5日勤務で、世間並みに休みもあることも考え、土曜日を無くした場合に効率のいい収集の仕方をぜひ検討していただきたい。その結果を再度審議してはどうかと思っています。ごみの減量も進めなければ収集しきれないことになりかねない。効率の良い収集方法を考えていただくことをお願いしたいと思います。</p>
森委員	<p>単純に労働者として考えると週6日勤務より週5日勤務がいいと思います。1日の仕事時間が多少伸びても、仕事に行く日が1日減る方がいいと思っていましたが、働いている従業員の年齢等の問題もあるので、一概に週5日勤務がいいということではないのが分かりました。ただ、週5日収集にした方がいいと思われるので、このように話をしていると思います。現在、東京都に住んでいますが、確かに週4日収集なので、どのように取り組んでいるのかを確認し、入間市でも取り組めるかを収集業者と話し合い、週5日にしていく方がいいのではないのかと思います。</p>
小林会長	<p>それでは、収集業者の意見も聞き、収集方法を含めた回数の見直しをもう少し分析したうえで、審議会で判断しやすいよう提示していただければと思います。</p>

発 言 者	発 言 内 容
有賀委員	先ほど、さらに減らして週4日収集という意見を言いましたが、その点はいかがですか。若者は世界的に見ても週4日労働、というところに来ています。週4日収集にすることができれば、働きたい方も出てくると思います。休みを自由に使いたい若者が増えているので、現状分析で、そこまで考えられないか再度検討していただきたい。
小林会長	ありがとうございます。それでは、どうしたらできるか、あるいはできないか、というような判断を皆様に委ねたほうがいいのではと思います。
事務局	収集業者には、アンケートという形でご意見を頂戴し、集計したものを皆様にご提示するような方法はとれると思います。週6日収集を週5日収集にすることに関しては、現在6パターンで市内を回っていますので、それを5パターンに再編しなくてはならないなど、検討する必要があるので、もう少しお時間をいただきたいと思います。
小林会長	今までの意見を整理して、審議会で説明できるようにしていただければと思います。 それでは本日の審議事項を閉じたいと思います。
司 会	小林会長ありがとうございました。 続きまして、次第の5の報告事項について事務局から説明させていただきます
事務局	・入間市地球温暖化対策実行計画に関する報告 パンフレット（みんなでつくる、ゼロカーボンシティいるま）を用いて事務局より説明を行いました。
司 会	次に次第6事務連絡。 ・令和5年度廃棄物減量等推進審議会のスケジュールについて説明 最後に閉会、永井副会長よりお願いしたいと思います。
永井副会長	本日は様々なご意見を賜りありがとうございました。皆さんの意見を聞き



発 言 者	発 言 内 容
	<p>ながら、ごみを減量すること、業者の働き方改革を進めること、新たな雇用ができるような方法など、問題解決は難しいと感じました。答申が次回できるかどうかまだわかりませんが、いただきましたご意見で現状分析や収集業者の意見をまとめる。そういったことの準備をして次の会議に臨みたいと思いますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは以上を持ちまして、令和5年度 第1回廃棄物減量等推進審議会を終了いたします。どうもありがとうございました。</p>
<p>議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。</p> <p>令和 5 年 7 月 5 日</p> <p>議 長 の 署 名 <u>小林昌幸</u></p> <p>議長が指名した者の署名 <u>永井健一</u></p>	